

IMAGINE ROTARY

イマジン ローター

2022~23 年度年度

国際ローター会長 Jennifer E.Jones

Rotary

東京麹町



東京麹町ロータークラブ

本日の例会プログラム

第 20 回例会 2023.1.30 (#2367) 舞の間
例会ホスト・紹介係 山本君
受付係 荒川君 吉田君
司会者 守屋君 ソングリーダー 崎山君

卓話「世界最高峰！

日本の水産技術で世界の食糧危機を救う」

(株)シーテック取締役 小野寺 毅氏
紹介者 藤田会員

前回の報告

第 19 回例会 2023.1.23 (#2366) 舞の間
例会ホスト・紹介係 保科君
受付係 秋山君 住吉君
司会者 守屋君 ソングリーダー 崎山君

卓話「日本酒にまつわるショートストーリー」

合同会社リンクリンク代表 酒井 とし江氏
紹介者 齊藤会員

会長報告

- 1) 本日は、酒井様に日本酒のお話をお願いいたします。
- 2) 2月4日の、ポリオ根絶チャリティー寄席のチケットはあと50枚で完売です。どうぞご協力ください。

幹事報告

- 1) 本日、6時から、各委員長によるクラブ協議会が御座います。該当の方は、ご出席下さい。
- 2) ポリオ根絶チャリティー寄席には、かさねがさねご協力をお願いいたします。

ポリオ根絶チャリティー寄席

2月4日(土) 12:15 開場 13:00 開演 会場: 国立演芸場

落語: 桂 竹紋 奇術: マジックジェミー 落語: 雷門 小助六 ものまね: 江戸家 まねき猫
春風亭 昇也 落語: 三遊亭 圓丸 桂 枝太郎 落語: 桂 竹丸

例会記録

会員総数 57名 出席会員数 24名
ゲスト 1名 オンライン参加 0名
ビジター 1名 その他 1名
海外ビジター 1名 事務局 2名

ニコニコボックス

齊藤会員: 本日は、酒井とし江様に卓話を
お願いいたしました。宜しく願い致し
ます。
藤田会員: 去年の7/23日に生まれた
悠太郎が6か月になりました。
元気にそだっています。

次回予告

第21回例会 2023.2.13 (#2368)
会場: 舞の間
例会ホスト・紹介係 吉沢会員
受付係 凧会員 山田俊之会員
司会者 木寅会員
ソングリーダー 末竹会員

卓話「中小企業M&Aの現場で起きていること」

2月6日は休日週の
為休会です。



(株)ストライク取締役兼執行役員
中村 康一氏
紹介者 加賀会員

これからの社会に向かって～一人ひとりの納税が社会の中で実ります

麹町税務署長 芦田 眞一氏(12/5卓話 地引会員紹介)

皆様、こんにちは、麹町税務署長の芦田と申します。

本日は「税を考える週間」にちなんだ話ということで、皆様の貴重なお時間を頂戴して、今年のテーマであります「これからの社会に向かって」という内容で税についてお話をさせていただきたいと思っております。皆様には是非、この機会に暮らしの中にある税について考えていただければ幸いです。

国税庁では、日頃から国民の皆様様に租税の意義、役割や税務行政の現状について、より深く理解してもらい、自発的かつ適正に納税義務を履行していただくために納税意識の向上に向けた施策を行っています。

身近な財政支出としましては、警察・消防費(令和2年度)に、5兆4,461億円、一人当たり約43,173円、ゴミ処理費用(令和2年度)に、2兆4,886億円、一人当たり約19,728円、国民医療費の公費負担額(令和元年度)に、16兆9,807億円、一人当たり約134,611円となっています。

また、公立学校の児童・生徒一人当たりの年間教育費の公費負担として、合計で約1,188万9千円もの金額が、児童・生徒一人当たりの高校卒業までの期間中における公費の負担となっております。

ここからは納税の義務についての話です。日本国憲法第30条には「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う」と定められており、私たちがそれぞれの納税の義務を果たすことによって、様々な公共サービスは維持され、私たちの社会は成り立っています。

ご承知のとおり、国民の代表である議員は、18歳以上の有権者が選挙で選んでおりますので、皆様も税に関する法律や税の使い道についての決定に有権者として関与しているわけです。納税は義務ではありますが、もうひとつの重要な意味合いとして、税の使い道に対して関与することができる権利でもあるということが出来ます。

次に、なぜ「税金」は必要なのか、なぜ「納税の義務」が憲法で定められているのか、ということをご一緒に考えていきたいと思います。

税の本質として1つ目は、税は公共サービスの対価であるということ。次に、自らの権利を行使して選んだ代表が、国の支出のあり方を決めることと、自らが国を支える税金を負担しなければならない義務とは表裏一体であること。これらを踏まえれば、三番目として、税の使い道に対して関心を持つことは納税者として極めて重要なことである、ということです。

そして、税の本質である「政治への参加と国を支える税金を国民が負担することが、対になっていること」、これこそが、「民主主義の基本」であることをご理解いただきたいと思います。

ここで、日本の「財政」について、ご説明します。

国の歳入は、主に税金と公債金で構成されており、令和4年度(補正後予算)の国の歳入総額は約110兆3千億円です。税金は合計で約65兆2千億円であり、全体の約59.1%を占めています。

その一方で、全体の約35.9%は「公債金」という国の借金で賄われており、元本の返済や利子の支払いなどの負担を、将来の世代に残すこととなります。

次に、国の歳出は、社会保障関係費と国債費と地方交付税交付金等で大部分を占めており、令和4年度(補正後予算)の国の歳出総額は約110兆3千億円です。

なお、歳出の中で、最も大きい割合を占める支出は、社会保障の約36兆円で、年金、医療、介護、生活保護、少子化対策のための費用などが含まれています。

皆様に身近な「消費税」は、この「社会保障関係費」に充てられることが決まっています。社会保障の一部について具体例を申し上げますと、「国民年金」については、月額1人当たり約6.5万円の年金支給額の半分を国が賄っています。

また、医療で申し上げますと、現役世代が3割、高齢者が1~2割の自己負担で、病院で治療を受けられるよう国が約12兆円を支援しています。

日本は、主要先進国の中でも急速に高齢化が進んでおり、年金、医療、介護等の給付水準が一貫して増加しています。他にも要因はありますが、これが国の借金が増大した主な要因の一つです。少子高齢化が進むことで、高齢者を支える働く世代の一人当たりの負担は増加していきます。

1965年(昭和40年)には、65歳以上1人に対し、20~64歳は9.1人、2019年(令和元年)には、65歳以上1人に対し、20~64歳は1.9人で負担していますが、2050年(令和32年)には、65歳以上1人に対し、20~64歳は1.3人で負担することとなり、働く世代の負担はますます大きくなることが予想されています。

繰り返しになりますが、高齢化による社会保障費の増加や景気の低迷による税収の減少を背景に、歳出と歳入には大きなギャップが生じています。歳出と歳入の大きなギャップが続いた結果として、国の借金である普通国債残高は年々増え続けています。

日本の借金総額は、1年間の経済活動の規模を表すGDPの2.5倍以上に達しており、主要先進国の中で飛び抜けて高い水準となっています。

歳入の大きな部分である税金については、確実に納税義務が履行されなければ、本日、説明した財政を維持していくことはできません。

国税庁は、内国税の賦課・徴収を担当する行政機関であり、昭和24年に大蔵省、現財務省の外局として設置されました。その国税庁開庁式の中で、発足に重要な役割を果たしたハロルド・モス氏は、国税庁に一つのスローガンを贈りました。

「正直者には尊敬の的、悪徳者には畏怖の的」というものです。その意味は、現在にも通じており、適正に申告している納税者からは、国税庁は果たすべき任務を全うしていると認められるよう、納税者サービスなどの向上に努めること。

その一方で、悪質な納税者からは、的確な調査によって不正を許すことなく是正して、悪いことをしても割に合わないと思われるようになること。そのような国税庁のあるべき姿を示しています。

これからの税務行政についても少し触れておきたいと思っております。国税庁では、令和3年6月に税務行政のデジタル・トランスフォーメーション、税務行政の将来像2.0を公表しました。

税務行政のデジタル・トランスフォーメーションとは、デジタルを活用して国税に関する手続や業務の抜本的な見直しであり、税務行政のデジタルトランスフォーメーションによって実現を目指す将来の税務行政のイメージが、税務行政の将来像2.0になります。

最後に、国税庁の取組紹介動画のご案内をします。

国税庁HPに掲載されているインターネット番組「Web-TAX-TV」では、国税庁の取組や税に関する紹介・説明を行っており、こちらに掲載されている以外にも多くの番組を配信しています。

またYouTube「国税庁動画チャンネル」でも配信していますので、是非、ご覧ください。

ご清聴ありがとうございました。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	浅野 泰弘	FAX:03-3263-9122
幹事	加賀 聡	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	吉沢 京子	URL: www.koujimachi-rc.jp